

わが家のアイドル



やなぎだ りょうげつ
柳田 涼月くん
「一升餅の代わりに
一升パンを背負ったよ!!」
(相生町)



やまなか りお
山中 理央ちゃん
「しまじろう大好き」
(野坂町)



くろさわ はるや
黒澤 春哉くん
「食べる事、あそぶ事が
大ーすき♡」
(中宮地町)



おのの より
大野 依梨ちゃん
「たくさん食べて
大きくなるよ!!」
(下影森)

1～1歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで。)抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

秩父高校

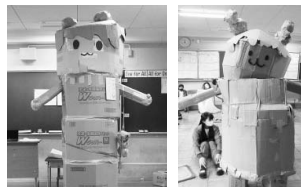
野山も秋の気配に包まれて、秩高文化祭開催!

今秋、秩父高校は2年ぶりに文化祭を開催しました。感染症対策のため来賓・来客なしで在校生徒だけでの実施、しかも1日開催。例年通りの文化祭なら、先輩から受け継いできたノウハウがあります。しかし今回は一から企画を考えなければなりません。生徒会役員も文化祭実行委員もこの制限の中で何ができるのか悩みました。

「達成感があり、クラスの団結につながるものは?」「楽しくて思い出に残るものは?」「秩父高校にしかできないものは?」



ポテくまくんってどんな形?



色々な形のポテくまくんが完成!

9月2日、文化祭当日は、まさに頭も体も使ったの行事となり、生徒たちも大変な盛り上がりでした。秩父高校の生徒は、主体的に考えて行動でき、どんな課題にも挑戦する気持ちを持っています。



最後はクラスごとに記念写真!

市民文芸

俳句

須田 真弓 選

秋来るワクチン接種待ちわびて	人肌	素人の農の喜び	お三時にちよつと塩ふり	赤とんぼ肩に止まられ動けない	読みかけの本ある幸よ秋ともし	今日一日釣瓶落としに	暮れてゆく野に残されし	コスモスの風を押ししゆく	山里は石垣多し
中村町	下影森	吉田久長	上町	日野田町	荻上野	山田	中村町	下吉田	上野町
山中	白砂	齋藤	濱田	加藤しげ子	橋本	町田ヨウ子	原	江原	櫻井
知	元之	大仙	愛子	和子	和子	和子	紀代子	慶枝	照子

〔評〕 櫻井さんの句、故郷を温かく描く原田泰治の絵のような世界。江原さん、「風に押されて」ではなく、「風を押しゆく」により自然との対話が生まれる。原さん、烏瓜の実は夕日を惜しみ、秋の終りを惜しむ。町田さん、「釣瓶落としに」で力強く瞬間を切り取る。橋本さん、本の続きを読む。秋灯下での満ち足りた時間。加藤さん、赤とんぼに止まられて困っているが、自然と笑みがこぼれる。濱田さん、衣被が季語、「ちよつと塩ふり」と素直に詠む。齋藤さん、素人故に、美味しい秋茄子のありがたさが身にしみる。白砂さん、もの寂しい秋雨だからこそ、人肌の酒が旨い。山中さん、ワクチン接種ができないもどかしさを「秋来る」でさり気なく表現。

※次回1月号は短歌を掲載します

俳句、短歌の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記の上、必ず通常はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2句または2首まで、各1通までです。

俳句 12月末締切→2月号に掲載
短歌 1月末締切→3月号に掲載